設定・アカウント

ワークスペースの基本情報

ワークスペース全体にかかわる設定は、設定の「ワークスペース」にある「基本情報」にあります。 ここで変えた内容は、メンバー全員の画面に反映されます。

このページの内容

01 基本情報の画面を開く
02 ワークスペース名を変える
03 レポートで使う週の始まりを決める
04 フォルダの並び順を選ぶ
05 開発版の機能を試す
06 基本情報の一番下にある「ワークスペースの削除」

最新の内容はWebで確認できます

help.nanco.io/manual/workspace-basic-settings

基本情報の画面を開く

1. **設定を開く**

   サイドメニューの「設定」を押して、設定の画面を開きます。

2. **「ワークスペース」の「基本情報」を選ぶ**

> **設定できる役割**
>
> ワークスペース名と開発版の機能を変えられるのは**管理者だけ**です。 週の始まりとフォルダの並び順は**編集者以上**が変えられます。 閲覧者は、週の始まりとフォルダの並び順の今の設定を見られますが、変更はできません。 役割の違いはメンバーと役割のとおりです。

ワークスペース名を変える

ワークスペース名は、会社名や店舗名など、見て分かる名前にしておくと、複数のワークスペースを使うときの選び間違いを防げます。 名前は**64文字以内**で、空にはできません。

1. **「ワークスペース名」を直す**

   「基本情報」の一番上にある「ワークスペース名」に、新しい名前を入力します。

2. **「保存する」を押す**

   名前を書き換えると「保存する」が押せるようになります。押すと新しい名前になります。 空のままや65文字以上のときは、名前の下にエラーが出て保存できません。

レポートで使う週の始まりを決める

「週の始まり」は、レポートの期間や、毎週届くメールレポートの区切りになる曜日です。 最初は**月曜日**で、日曜日から土曜日までの7つから選べます。 たとえば土日に出荷が多い店舗なら、日曜日始まりにすると、土日が週の頭にまとまって見やすくなります。

1. **「週の始まり」のプルダウンを開く**

   「週の始まり」の枠にあるプルダウンを押します。

2. **始めたい曜日を選ぶ**

   一覧から曜日を選ぶと、そのまま保存されます。「保存する」ボタンはありません。 保存中は、プルダウンの横に回転する印が出ます。

週ごとのメールレポートは、週の始まりに設定した曜日に届きます。 月曜日から日曜日に変えると、届く曜日も月曜日から日曜日に変わります。

フォルダの並び順を選ぶ

サイドバーのフォルダと、移動や登録などでフォルダを選ぶ画面での並び順を切り替えます。選べるのは次の2つです。最初は「名前順」です。

- **名前順**: フォルダの名前で、あいうえお順・アルファベット順に並べます。数字は「A2」が「A10」より前に来る自然な順です
- **一覧と同じ**: 在庫一覧で並べ替えた順（作成順を含む）と同じに並べます

1. **「フォルダの並び順」のプルダウンを開く**

   「フォルダの並び順」の枠にあるプルダウンを押します。

2. **「名前順」か「一覧と同じ」を選ぶ**

   選ぶとそのまま保存され、サイドバーのフォルダの順がすぐ入れ替わります。

この設定で変わるのは、フォルダの見える順番だけです。在庫一覧そのものの並びや、アイテムのデータは変わりません。 CSVを取り込み直しても、順番は崩れません。

開発版の機能を試す

「開発版の機能」をオンにすると、開発中の新機能を試せます。 試している機能は、**予告なく変更されたり、なくなったりすることがあります**。 日々の業務で使う前に、必要な機能かどうかを確かめてからオンにしてください。

1. **「開発版の機能」のスイッチを押す**

   「開発版の機能」の右にあるスイッチを押すと、オンとオフが切り替わります。

2. **切り替わりを待つ**

   保存している間はスイッチの横に回転する印が出て、スイッチは操作できません。印が消えれば完了です。

> ⚠ **開発版の機能は管理者だけの設定です**
>
> スイッチを切り替えると、ワークスペースの全員に効きます。メンバーの業務に影響しないか、事前に伝えてからオンにします。 管理者以外のメンバーには、この枠は表示されません。

基本情報の一番下にある「ワークスペースの削除」

「基本情報」の一番下には、赤い枠の「ワークスペースの削除」があります（管理者にだけ表示されます）。 削除すると、アイテム・メンバー・履歴・設定のすべてが消え、**元に戻せません**。 誤って削除しないよう、ワークスペース名を入力する確認が出ます。 使わなくなっただけなら、削除せずにそのままにしておくこともできます。